



5月園だより

平成30年4月27日
城崎こども園

保護者会総会、家庭訪問にご協力ありがとうございます。今後もお気づきの点ございましたらどのようなことでもお知らせください。

さて、桜の時期を過ぎ、新緑の季節を迎えました。お子様にとっては一つ大きくなったことを喜びはしゃぐ時期から、活動や行事に前向きに取り組み始める季節です。また環境の変化や家庭を離れる不安ととまどいを徐々に乗り越え、園生活のリズムを覚え楽しむようになる時期です。しかし、それぞれに個人差がありますので園ではお子様一人ひとりに目を向け、それぞれの成長を受け止めていきたいと思ひます。また、新しい環境での緊張や朝夕の気温差などで体調を崩しやすい時期でもありますので体調管理にお気を付けてください。

連休でご家庭で過ごすことが多くなりますが、この機会にご家庭でじっくりとコミュニケーションをとって、新年度の最初の1ヶ月の緊張と疲れを取っていただきたいと思ひます。

身体を一杯うごかそう！

近年、子どもの体力低下が懸念されていますが、それを改善するには幼少期の活動が大切です。天候に恵まれるこの季節、屋外で身体を一杯動かして遊ぶ楽しさを伝えることのできる活動に取り組んでいきます。



1日 (火)		17日 (木)	田植え体験予備日
2日 (水)		18日 (金)	リトミック
3日 (木)	憲法記念日・休日保育	19日 (土)	
4日 (金)	みどりの日・休日保育	20日 (日)	休日保育
5日 (土)	こどもの日・休日保育	21日 (月)	
6日 (日)	休日保育	22日 (火)	
7日 (月)		23日 (水)	避難訓練・英語遊び
8日 (火)	花まつり・読み聞かせ	24日 (木)	歯科検診
9日 (水)	英語遊び	25日 (金)	リトミック
10日 (木)		26日 (土)	
11日 (金)	親子遠足	27日 (日)	休日保育
12日 (土)		28日 (月)	トライやるウィーク受入(6月1日まで)
13日 (日)	休日保育	29日 (火)	
14日 (月)	坐泉指導・ぞうぐみクッキング	30日 (水)	
15日 (火)		31日 (木)	誕生会・身体測定
16日 (水)	田植え体験		

※8日は花まつりです。お釈迦様の誕生日をお祝いします。その際、花御堂を花で飾り付けをしますのでお花を御協力いただける方は8日の登園時に園にお持ち下さい。ご協力お願いいたします。

※毎月の座禅体験(5月は14日)には保護者の方も参加していただけます。ご都合のつく方はどうぞ一緒に。時間はぞうぐみ9:00~9:30、きりんぐみ9:30~10:00です。また、毎月の誕生会(5月は31日)もご覧いただけます。10時からです。

※5月16日(雨天の場合は翌17日)にJA たじま様のご協力で上山地区(玄武洞駅裏)の田んぼで田植えを行います。その際に一緒にご参加いただける保護者の方おられましたら詳細は別にご案内しますのでお知らせください。(ぞうぐみ きりんぐみ)

※城崎中学校2年生のトライやるウィークは5月28日~6月1日になりました。2名の中学生が体験をします。安全に十分留意して交流を行います。

※3歳未満児担当として宮田千春保育教諭が着任しました。よろしくお願い申し上げます。

6月の主な予定

- 2日(土)ふれあい参観日 6日(水), 20日(水)英語遊び 8日(金), 22日(金)リトミック
- 12日(火)座禅指導 15日(金)ぞうぐみ親子クッキング(味噌造り) 18日(月)プール開き
- 21日(木)老人交流会 25日(月)園内研修 29(金)誕生会・身体測定
- 25日(月)~29日(金)オープンスクール

短時間登録(1号認定及び保育短時間認定)の方へ

小中学校との連携の観点から小中学校の行事(参観日・個別懇談・役員会など)がある場合は延長料金はいただきません。また、お子さんの検診の場合も同様とします。どちらの場合も事務室にお申し出ください。よろしくお願い申し上げます。



お誕生日おめでとう！



<保育雑感> 「幸福感」

日本人は他の国に比べ幸福感が低いと言われていいます。それ理由は様々でしょうが大きく二つの理由があると思ひます。一つは「理想が高い」ということ、もう一つは「現実への不満が向上につながる」と考へているということが挙げられるのではないのでしょうか。確かに理想を高く持ち、今の自分に満足しないことは自分自身を向上させる上で大切なことですが、そういう目で子どもたちを見てしまうことは子どもにとって大きなプレッシャーになってしまいます。ことわざに「隣の花は赤い」とあるように、他人と比べてしまうことは私たちの悲しい性ですが、子どもたちにはそれぞれの成長があります。個人同士はもちろん、同じ年齢のクラス単位でも当然異なります。「花は紅、柳は緑」という言葉があります。「そのままが一番いい」という意味ですが、「今」の成長をしっかりと受け止め、子どもたちに「それでいいんだよ」と言える気持ちを大切にしたいものです。